

商業登記リモート署名ドライバソフト 利用者マニュアル

～ Adobe Acrobat Reader 等で電子署名を行う方法について ～

1.0 版

令和 7 年 12 月

法務省民事局商事課

改訂履歴

版数	改訂日付	改訂内容
1.0 版	令和 7 年 12 月 23 日	・新規作成

目次

1 概要	5
1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトについて	5
1.1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトとは	5
1.1.2 商業登記リモート署名とは（参考）	6
1.2 対象読者	7
1.3 動作環境	8
2 事前準備	9
2.1 商業登記電子認証ポータルを利用した商業登記電子証明書の取得・登録	10
2.2 商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール	11
2.2.1 商業登記リモート署名ドライバソフトのダウンロード	11
2.2.2 商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール	12
2.3 商業登記リモート署名ドライバソフトの初回起動時の設定	16
2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定	16
3 商業登記リモート署名ドライバを利用した電子署名の利用方法	23

3.1 Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作.....	23
4 その他機能の操作.....	29
4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには... ..	29
4.2 通信環境の設定を行うには... ..	33
4.3 電子署名に指定した商業登記電子証明書をクリアするには... ..	36
4.4 G ビズ ID の認証情報をクリアするには... ..	37
4.5 商業登記リモート署名ドライバソフトをアンインストールするには... ..	39
5 トラブルシューティング.....	42
6 G ビズ ID との連携.....	43
7 用語の定義.....	43
8 参考情報.....	48
9 問い合わせ.....	48

1 概要

1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトについて

1.1.1 商業登記リモート署名ドライバソフトとは

商業登記リモート署名ドライバソフト（以降、本ソフトウェア）は、法務省が提供する「商業登記リモート署名」をパソコン（Windows）で利用するためのソフトウェアです。

本ソフトウェアを Windows にインストールすると、電子署名に対応したアプリケーションから、商業登記リモート署名による電子署名を安全に行えるようになります。

実際の署名処理は、本ソフトウェアを通じてインターネット上の商業登記リモート署名システムにて行われます。また、インターネット上の商業登記リモート署名システムと連携する際には、G ビズ ID を使った認証（本人であることの確認）、および認可（アクセス権限の確認）を行う必要があるため、本ソフトウェア経由で認証と認可（認可処理は、別途スマートフォンが必要）を行います。本ソフトウェアは Windows に標準搭載されている CNG/CAPI の暗号 API の仕組みを使って、利用者が操作する電子署名を行うアプリケーションに対して電子署名機能を提供します。

商業登記リモート署名では、以下の利用方法を提供いたします。

- ① 行政機関において開発した Web アプリケーションを、ブラウザを使って操作し、商業登記リモート署名を行う利用方法。
- ② 行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーションを操作し、商業登記リモート署名を行う利用方法。この際には、本書に記載の本ソフトウェア経由で商業登記リモート署名システムと連携します。
- ③ 一般的に利用されている市販の Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーション（Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat 等）を操作し、商業登記リモート署名を行う利用方法。（一般利用者のみ利用可能）。この際には、本書に記載の本ソフトウェア経由で商業登記リモート署名システムと連携します。

本書では、上記の3つの利用方法のうち、②の行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーション、および③の一般的に利用されている市販の Windows 上で動作する電子署名を行うアプリケーション（Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat 等）の利用で必要となる事前準備を記載しております。また、③については、Adobe Acrobat Reader を利用例として記載しております。

なお、②の行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名アプリケーションを利用した電子署名の操作方法につきましては、それぞれのマニュアルをご参照ください。

1.1.2 商業登記リモート署名とは（参考）

商業登記リモート署名は、商業登記電子証明書と紐付いた署名鍵を商業登記リモート署名システム上に保管して利用する仕組みとなります。商業登記電子証明書の利用者は、商業登記電子認証ポータルを利用して電子証明書の発行準備や管理を行い、商業登記リモート署名に対応した署名生成アプリケーション（行政システムや電子署名アプリ等）を用いて電子署名を付与することができます。なお商業登記電子認証ポータルと署名生成アプリケーションの利用時には G ビズ ID による認証や認可と連携して動作します。

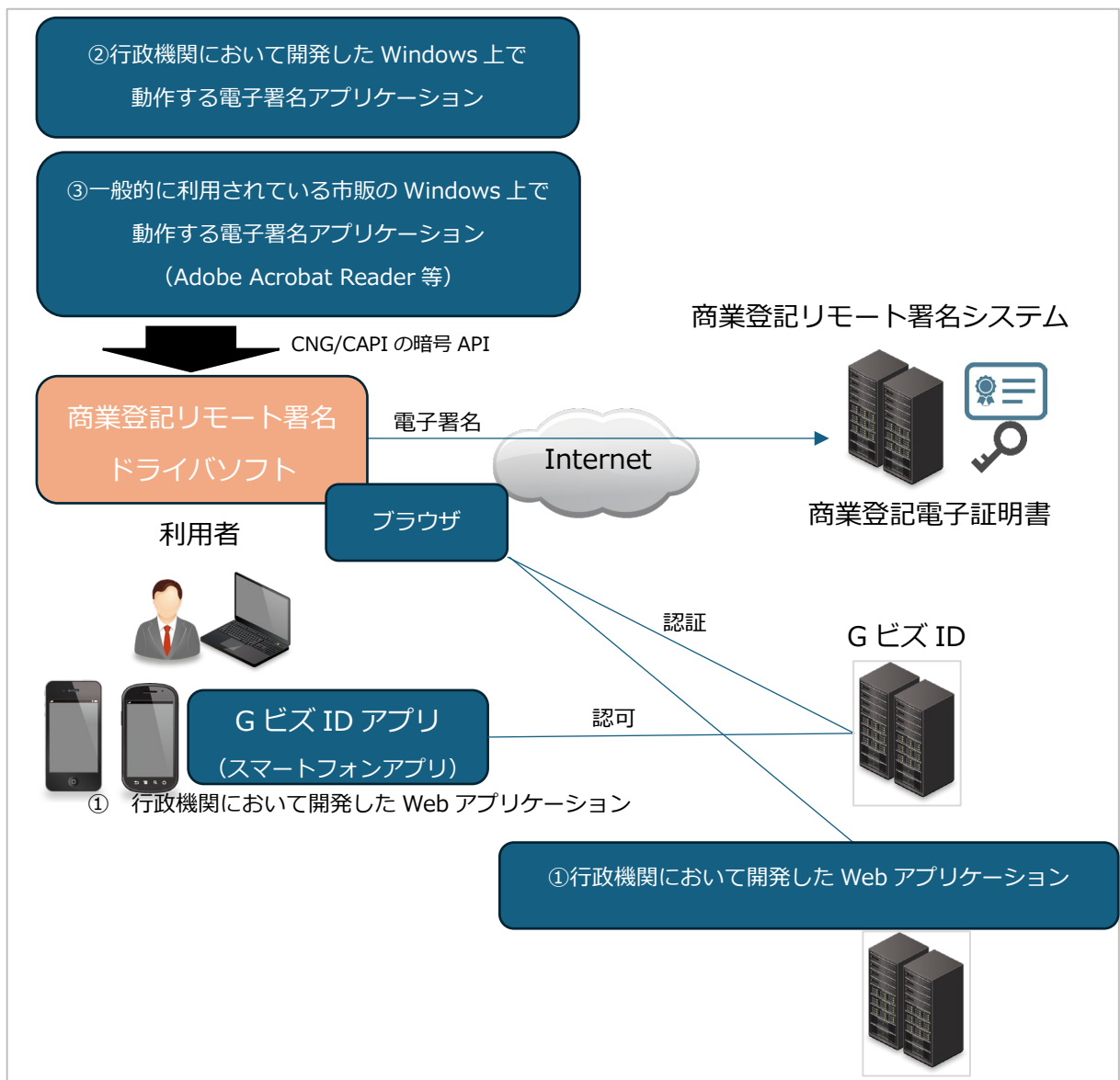


図 1、商業登記リモート署名の全体概要

1.2 対象読者

本書の対象読者は、ご利用の PC 上で動作する商業登記リモート署名に対応した電子署名を行うアプリケーションを利用して商業登記リモート署名を行う利用者を想定しています。

1.3 動作環境

本ソフトウェアの動作環境は以下の通りとなります。

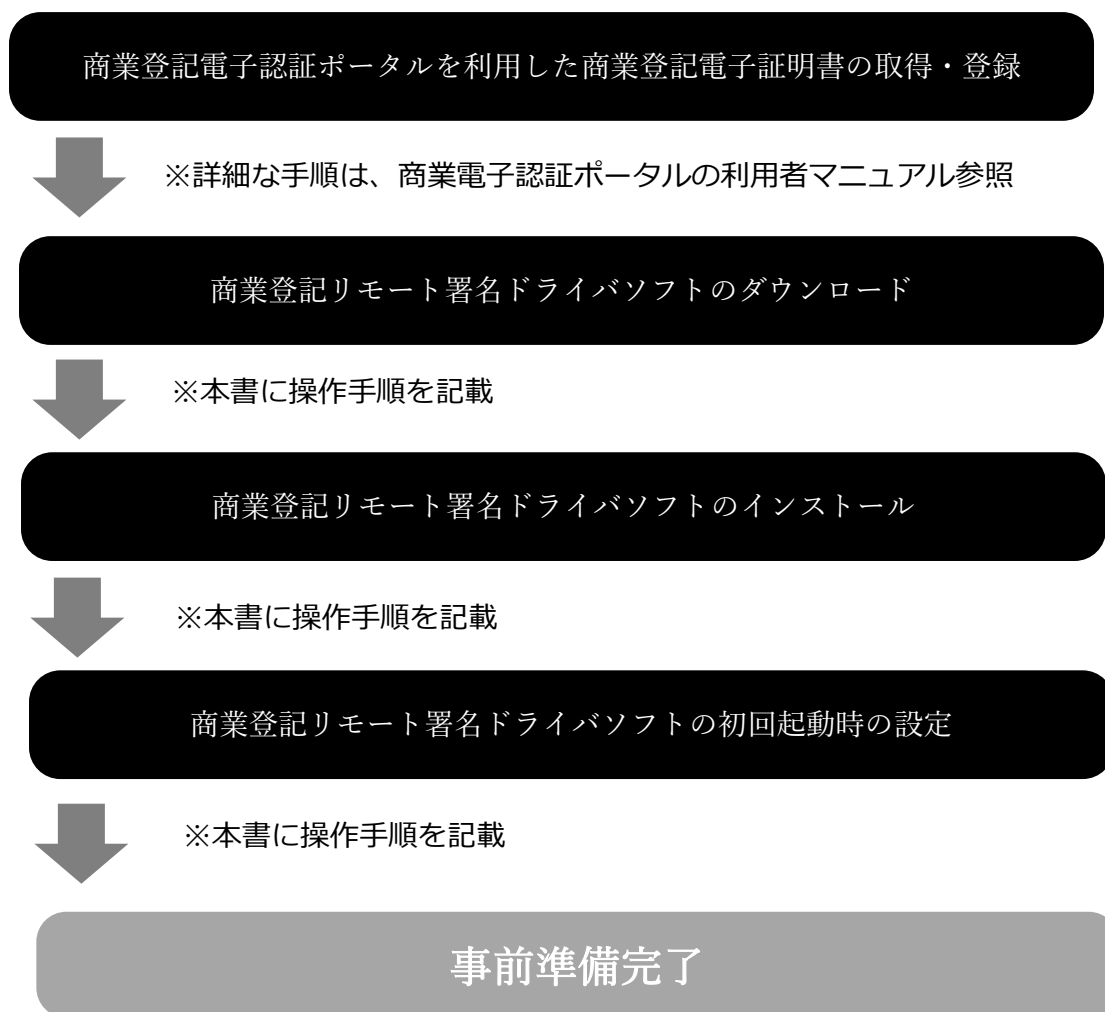
表 1、動作環境

項目	条件
プラットフォーム	Windows 11 Home/Pro (64 ビット版)
Web ブラウザ	Microsoft Edge
通信環境	外部サーバーとの通信を行うため、インターネット接続環境が必要です。 【商業登記リモート署名システム】 • 接続先 URL : https://rssp.cr-rs.moj.go.jp 【G ビズ ID】 G ビズ ID の『G ビズ ID マイページ操作マニュアル』をご参照ください。 ※プロキシ環境やファイアウォールの設定により通信が遮断されている場合、正常に動作しないことがあります。
電子署名を行うアプリケーション	• 行政機関において開発した Windows 上で動作する電子署名アプリケーション • Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat ※アプリケーションのビット数は、32 ビット版および 64 ビット版のアプリにて利用可能となります。 ※CNG の暗号 API は、64 ビット版のみ利用可能となります。

2 事前準備

本ソフトウェアを利用するための事前準備は、以下の流れとなります。

本章では、以下の黒背景の操作手順について記載しております。



【重要】

商業登記リモート署名の利用には、G ビズ ID およびスマートフォン（G ビズ ID アプリ）が必須です。スマートフォンをお持ちでない場合、本ソフトウェアを利用した電子署名は行えません。

2.1 商業登記電子認証ポータルを利用した商業登記電子証明書の取得・登録

取得済の G ビズ ID のアカウントにて商業登記電子認証ポータルを利用して、商業登記電子証明書を商業登記リモート署名システムに事前に取得しておく必要があります。詳細の手順につきましては、商業登記電子認証ポータルの利用者マニュアルを参照してください。

なお、商業登記電子証明書を、ファイル形式または IC カード格納形式で取得して電子署名を付与する場合には、本ソフトウェアの利用はできません。

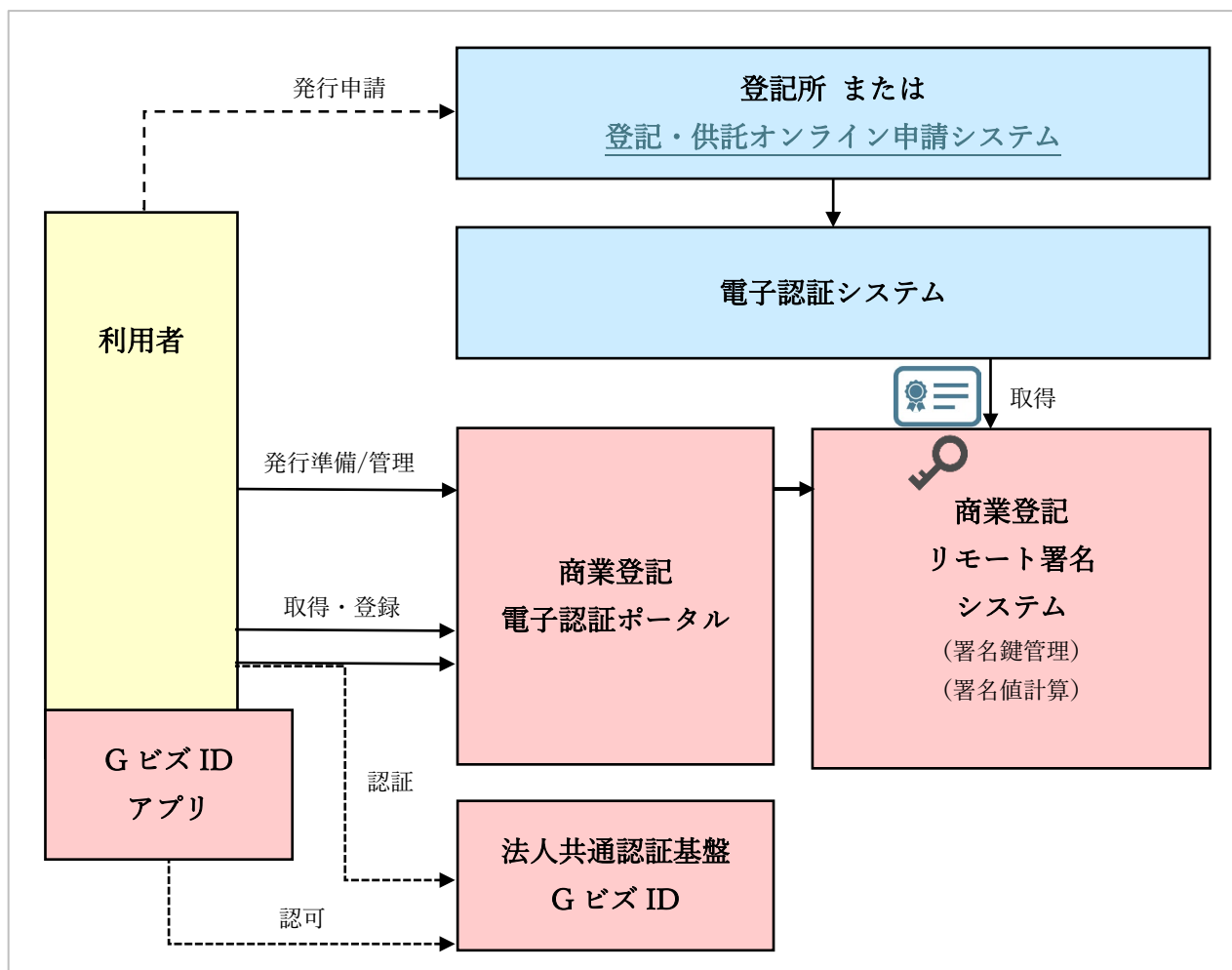


図 2、商業登記電子証明書の取得・登録

2.2 商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール

2.2.1 商業登記リモート署名ドライバソフトのダウンロード

- ① ご利用のパソコン（Windows）にてブラウザを起動します。
- ② ブラウザにて、<https://portal.cr-rs.moj.go.jp> にアクセスします。商業登記電子認証ポータル画面が表示されます。

商業登記電子認証ポータル

ご利用ガイド 証明書の発行申請と取得 証明書発行後の照会・手続 よくある質問 お問い合わせ ログイン

商業登記電子認証 ポータル

電子認証登記所が発行する会社・法人の代表者等の電子証明書である「商業登記電子証明書」の発行申請準備、登録及び管理ができるポータルサイトです。

※当ポータルご利用の際には [GBizIDの取得](#)・[ログイン](#) が必要です。

証明書の発行申請と取得

証明書発行後の 確認・管理

重要なお知らせ

2025年12月29日	タイトル1更新テスト コンテンツ1更新テスト
2025年12月30日	タイトル2 コンテンツ2
2025年12月31日	タイトル3 コンテンツ3

商業登記に基づく電子認証制度（商業登記電子証明書）とは

商業登記に基づく電子認証制度は、紙文書における会社・法人の代表者等の印鑑に代わる電子的な「鍵」を登記所に届け出て、その認証を受けることで、印鑑証明書に代わる電子的な証明書である「商業登記電子証明書」の発行を受けることができる制度です。

商業登記電子証明書は、様々な行政手続のオンライン申請・届出や企業間の電子契約などに用いることができます。

商業登記電子証明書を利用することができる手続は、[こちら](#)をご確認ください。

※本ポータルを利用せずに商業登記電子証明書を発行する方法は、[こちら](#)をご確認ください。

- ③ 表示されている画面を下にスクロールし、「リモート署名ドライバソフトのダウンロード」のボタンが表示されていることを確認し、「リモート署名ドライバソフトのダウンロード」を押下し、ご利用のパソコン（Windows）にインストーラをダウンロードします。

電子証明書のシリアル番号と「鍵パスワード」を用意して、電子証明書を「リモート署名システム」へ登録します。

※画面遷移後にG.bizIDでログインしてください

※シリアル番号は、書面申請では管轄登記所から交付される「電子証明書発行確認票」に記載されています。

オンライン申請では申請用総合ソフトの「お知らせ」欄に表示されます。

※「リモート署名システム」に登録することによって、リモート署名機能を利用することができます。

Windowsアプリケーションで電子署名を利用するためのソフトウェアダウンロード

商業登記電子証明書のリモート署名をPCにインストールされているWindowsアプリケーションで利用する際に必要となるソフトウェアとなります。

本ソフトウェアをPCにインストールすることで、Adobe AcrobatなどのWindowsアプリケーションから商業登記電子証明書の電子署名を利用できるようになります。本ソフトウェアはこちらからダウンロードしてください。

申請用総合ソフトを使用して電子証明を行う場合はリモート署名ドライバソフトのダウンロードは不要です。申請用総合ソフトについては[こちら](#)をご確認ください。

※本ソフトウェアはサポート対象期間中のWindowsで利用できます。

※ご利用方法について詳細は[こちら](#)をご確認ください。

リモート署名ドライバソフトのダウンロード

証明書の利用状況の確認・管理

商業登記電子認証ポータルでは、発行された電子証明書の使用履歴や有効期限をネット上でリアルタイムに確認し、管理することができます。不正利用を防ぐ証明書の使用休止の手続きも本ポータル上で行うことができます。

オプション機能

必要に応じて使用する機能です。

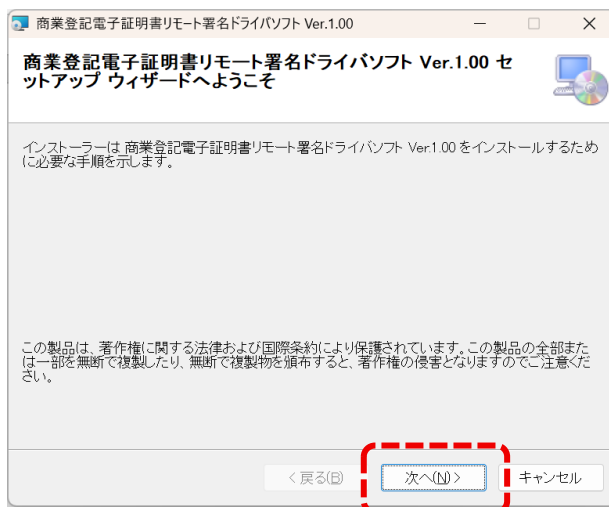
「署名機能の一時停止/停止解除」、「鍵削除」、「鍵パスワード変更」、「電子証明書一覧」、「署名履歴」、「電子証明書有効性確認」、「証明書発行申請ファイルのダウンロード」、「電子証明書の再発行」、「電子証明書使用休止」、「休止届出用暗証コード」

2.2.2 商業登記リモート署名ドライバソフトのインストール

- ① ダウンロードしたインストーラのファイル（setup.exe）をマウスのダブルクリックにて実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
CrpkiRemoteSignAppInstaller.msi	2025/12/04 13:09	Windows インストーラ...	3,137 KB
setup.exe	2025/12/04 13:09	アプリケーション	568 KB

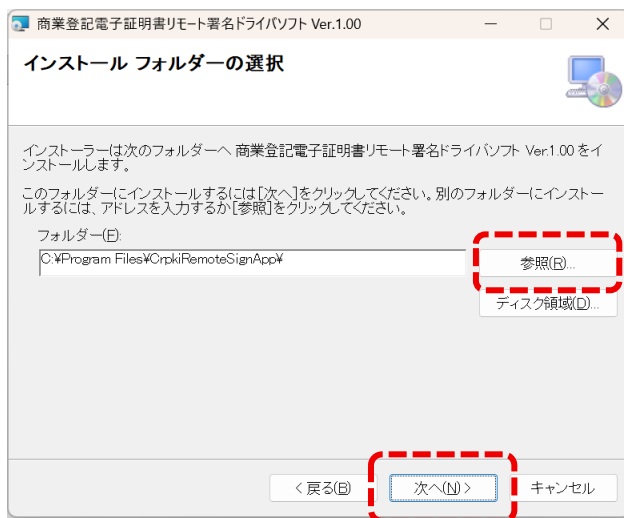
- ② 以下のインストール開始の確認ダイアログが表示されますので、「次へ(N) >」ボタンを押下します。



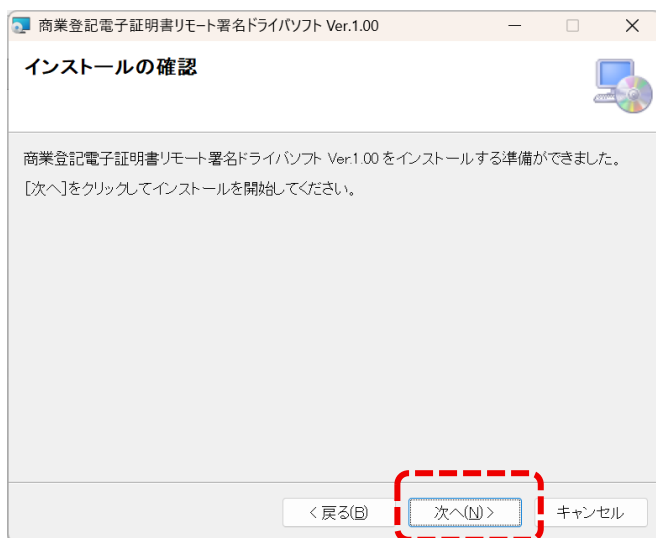
- ③ 以下のライセンス条項確認のダイアログが表示されますので、ライセンス条項を確認し、「同意する(A)」のラジオボタンを選択し、「次へ(N) >」ボタンを押下します。



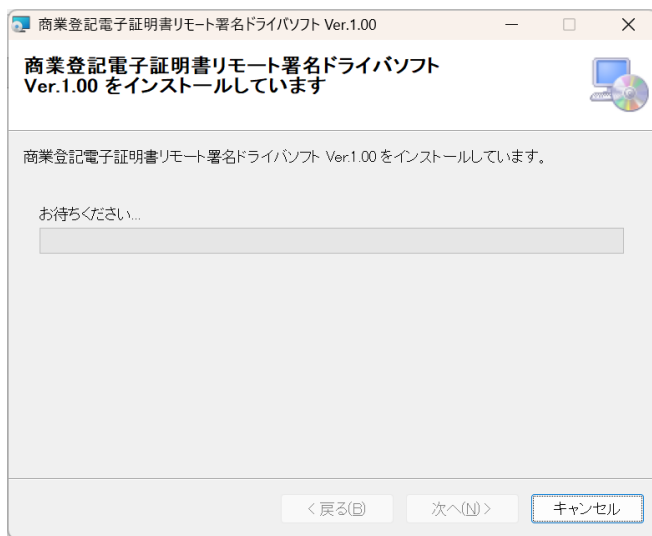
- ④ 以下のインストールフォルダの選択ダイアログが表示されます。本ソフトウェアのインストールフォルダを変更する場合には、「参照(R)」ボタンで選択しインストールフォルダを選択します。インストールフォルダを選択後、またはインストールフォルダを変更しない場合には「次へ(N) >」ボタンを押下します。



- ⑤ 以下のインストールの確認ダイアログが表示されますので、「次へ(N) >」ボタンを押下します。



- ⑥ インストールが開始されると、以下のインストール状況の表示ダイアログが表示され、インストールの状況が表示されます。



- ⑦ 以下のインストール完了のダイアログが表示されましたら、インストールは完了となります。「閉じる(C)」ボタンを押下します。



- ⑧ 以上で本ソフトウェアのパソコン（Windows）へのインストールは完了となります。

2.3 商業登記リモート署名ドライバソフトの初回起動時の設定

商業登記リモート署名システムでは、1つのG ビズ ID アカウントに対して複数の商業登記電子証明書を登録可能となりますが、本ソフトウェアで電子署名を付与する際には、事前に電子署名に利用する商業登記電子証明書を指定する必要があります。本章では、この電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定方法について記載いたします。

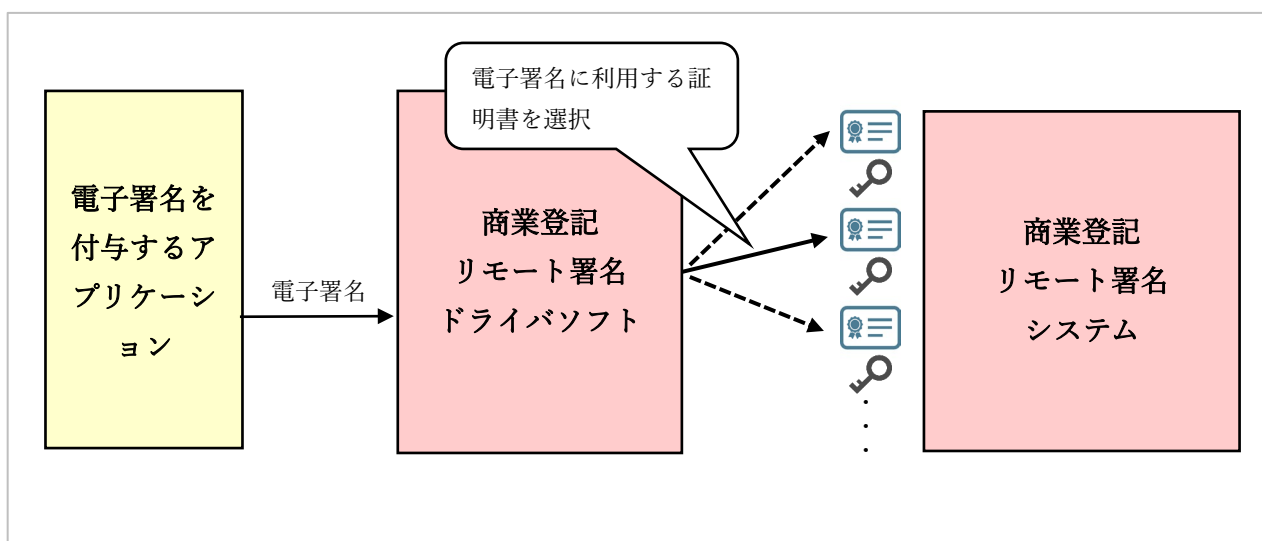
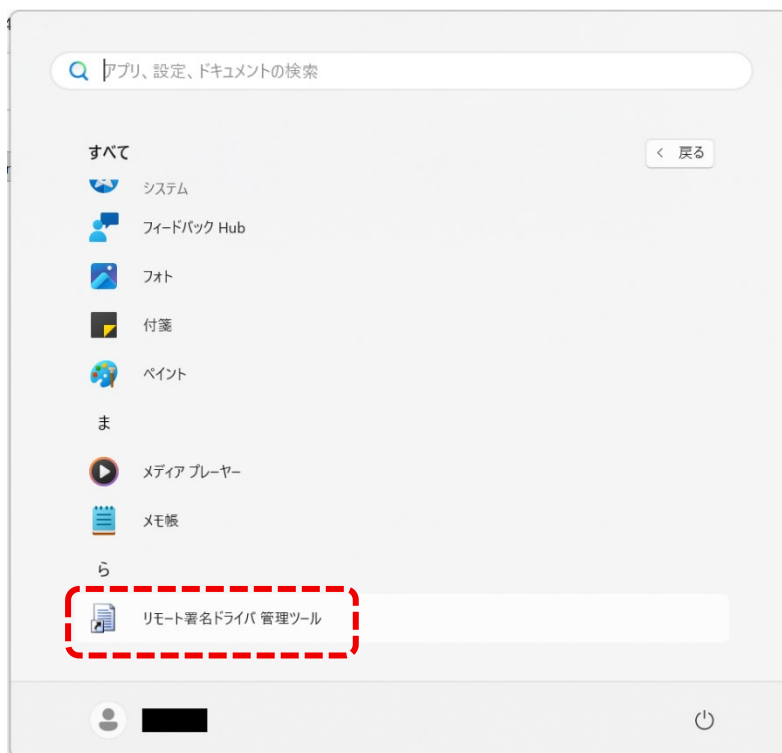


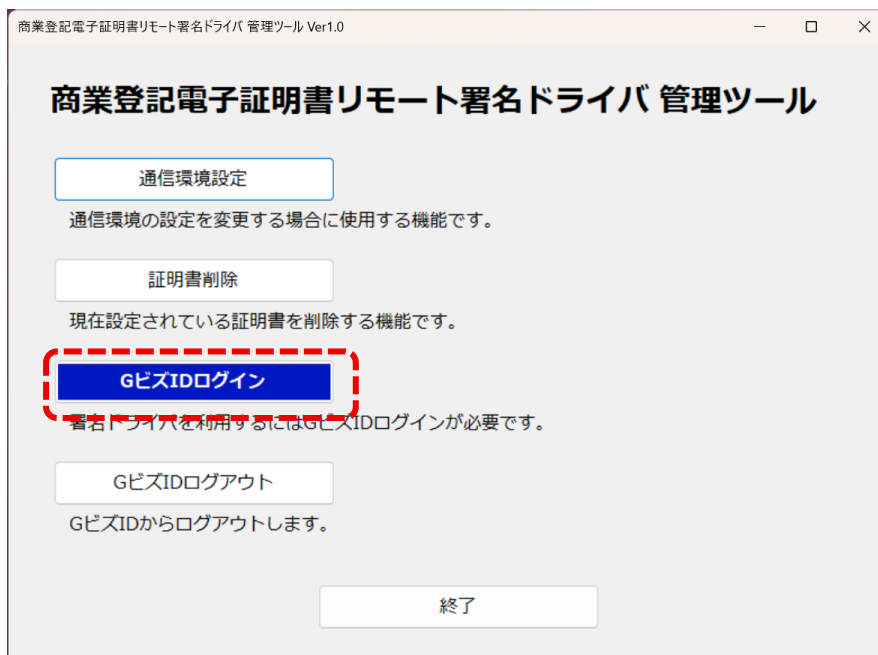
図 3、商業登記電子証明書の指定

2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定

- ① Windows のメニューから「リモート署名ドライバ 管理ツール」を起動します。



- ② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「G ビズ ID ログイン」を押下します。



- ③ ブラウザが起動され G ビズ ID のログイン画面が表示されます。G ビズ ID に登録済の Email、パスワードを入力し、「ログイン/Login」ボタンを押下します。

GビズID

ログイン / Login

アカウントID / Account ID (メールアドレス / Email)

パスワード / Password

ログイン / Login

[パスワードを忘れた方はこちら / Forgot password?](#)

[アカウントを持っていない方はこちら / Don't have an account? Sign up.](#)

[アカウントID \(メールアドレス\) を忘れた方・SMSの受信ができない方はこちら / Forgot account ID? / Can't receive SMS?](#)

デジタル庁
© 2019 Digital Agency, Government of Japan

- ① 以下の認証画面が表示された場合はその指示に従って、G ビズ ID に設定済の認証をおこなってください。

GビズID

スマートフォンアプリ認証待ち / Waiting for app authentication

スマートフォンアプリ認証待機中です。

① スマートフォンに通知が来ない場合、手動でGビズIDアプリを起動してください。

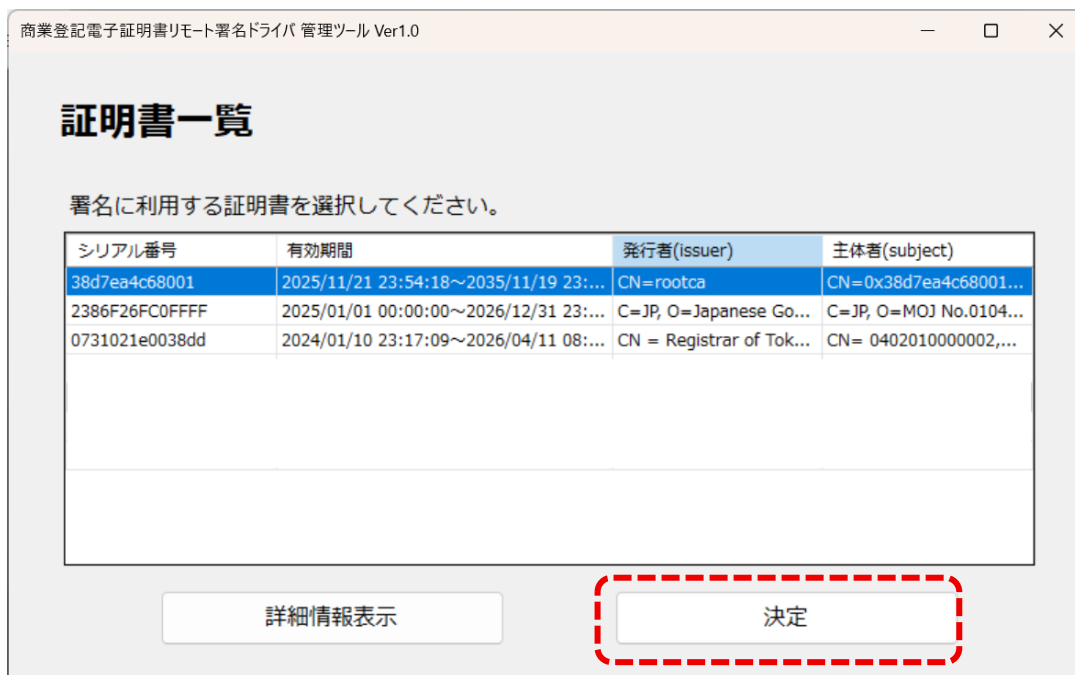
ログイン中止

- ④ 認証が正常に完了すると、以下のダイアログが表示されますので、
「CrpkiManagementTool を開く」 ボタンを押下します。



- ⑤ 以下のダイアログが表示され、商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書一覧がリスト表示されます。電子署名に利用する証明書をリストから選択後に、「決定」 ボタンを押下します。

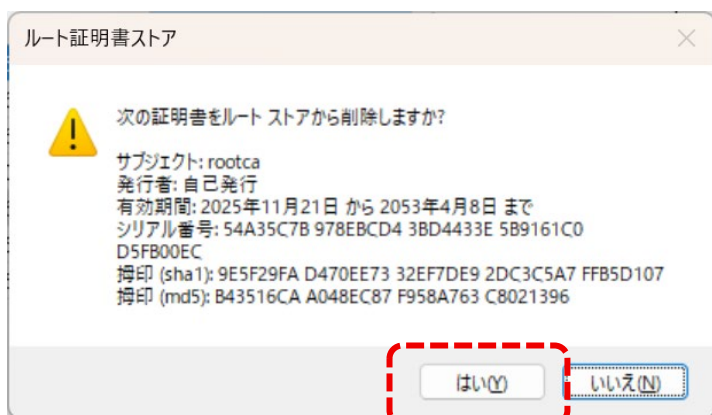
※商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書が 1 件の場合には、以下のダイアログは表示されません。また、利用可能な証明書が 0 件の場合には、0 件というダイアログが表示されます。既に管理ツールから登録した証明書が存在する状態で別の証明書を登録した場合、前の証明書は削除されて新しい証明書が登録されます。



- ⑥ 以下のダイアログが表示されますので、暗号方式のラジオボタンを選択後に「決定」ボタンを押下します。 Adobe Acrobat Reader/Adobe Acrobat をご利用して電子署名を行う場合には、「Next Generation(CNG)(推奨)」のラジオボタンを選択してください。その他の電子署名を行うアプリケーションにつきましては、各アプリケーションの暗号エンジンの対応状況に従って選択をしてください。



- ⑦ 自己署名証明書をインストールするため、以下のダイアログが表示されます。「はい(Y)」ボタンを押下します。(初回アクセス時は以下の「次の証明書をルート ストアから削除しますか?」は表示されません。)



【重要】

上記ダイアログは、パソコン (Windows) の「信頼されたルート証明書機関」に登録時に表示されるダイアログとなります。「信頼されたルート証明書機関」に登録されたルート CA は、パソコン (Windows) の 環境上で すべての証明書を無条件に信頼する基点となりますので、ダイアログに表示される自己署名証明書の内容を確認後に「はい(Y)」ボタンを押下してください。

- ⑧ 電子署名に利用する商業登記電子証明書を Windows の証明書ストアに正常に登録されると下記のダイアログが表示されますので、「OK」ボタンを押下します。



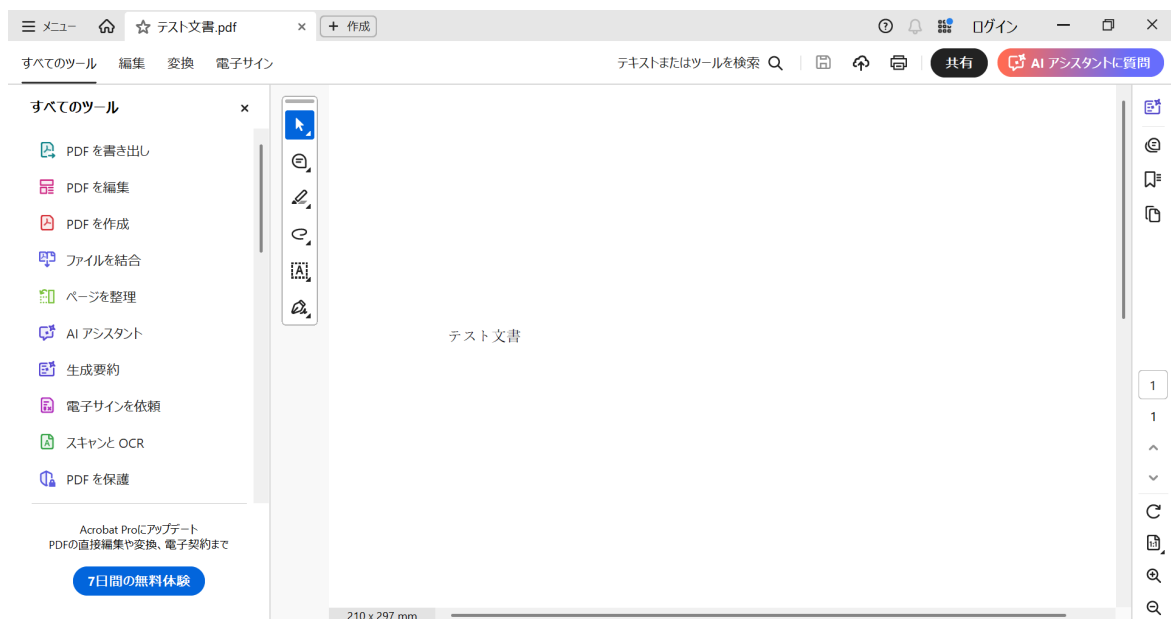
- ⑨ 以上で本ソフトウェアの事前準備は完了となります。

3 商業登記リモート署名ドライバを利用した電子署名の利用方法

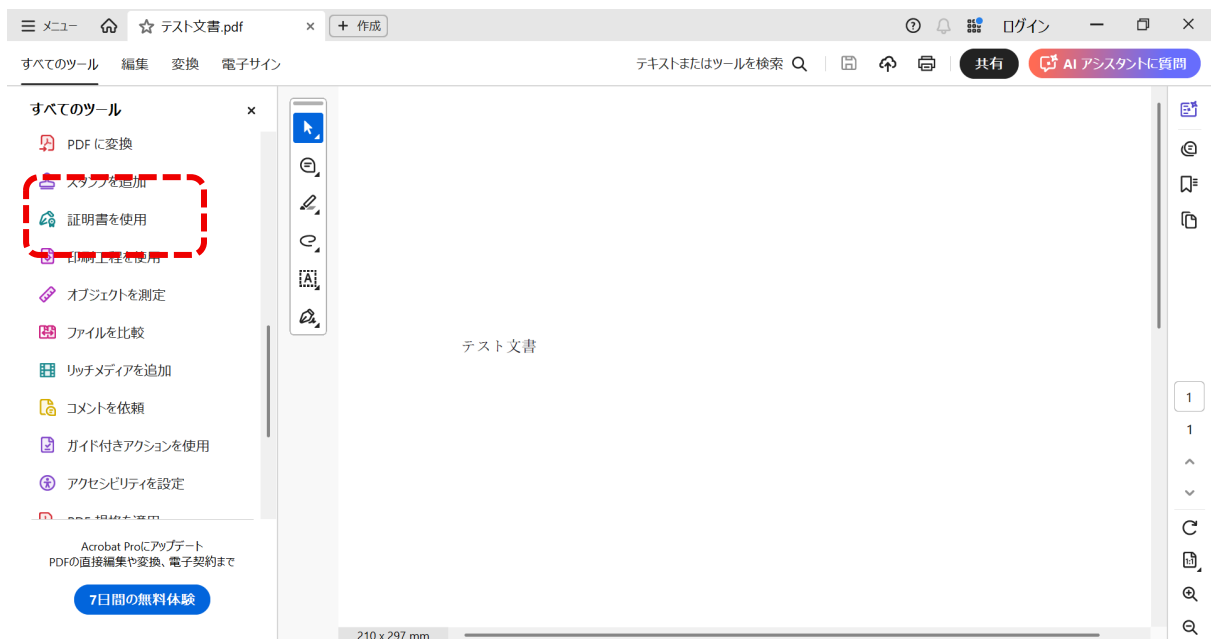
本ソフトウェアを利用した電子署名につきましては、Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作について記載します。

3.1 Adobe Acrobat Reader を利用した電子署名操作

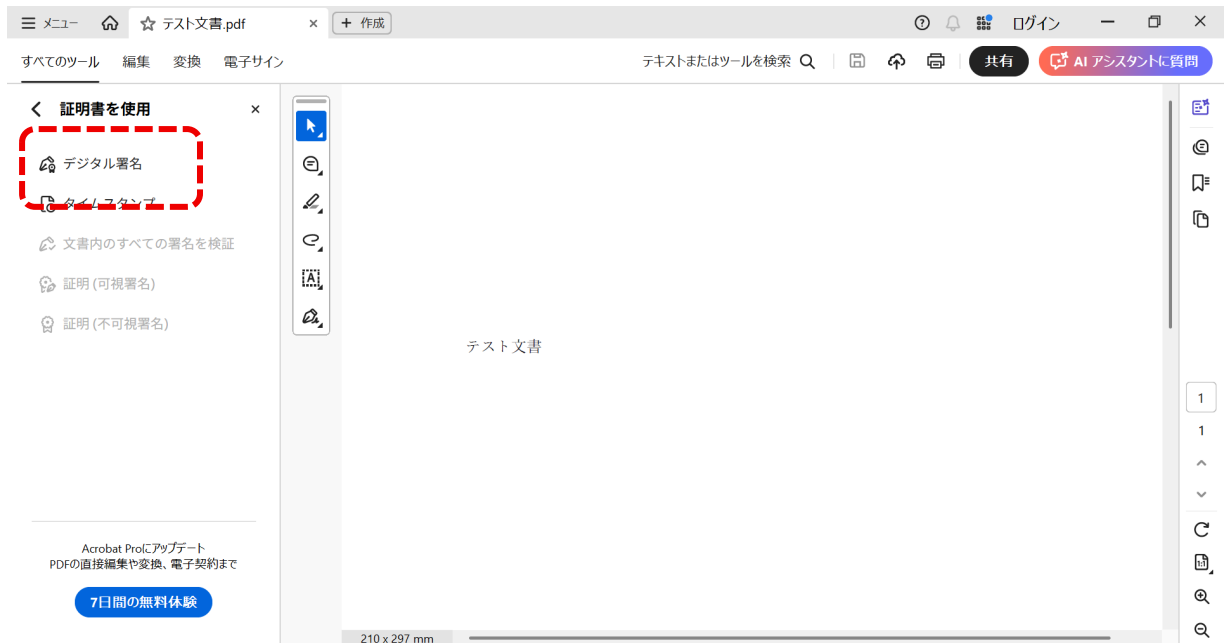
① Adobe Acrobat Reader を起動し、電子署名を付与する PDF ファイルを開きます。



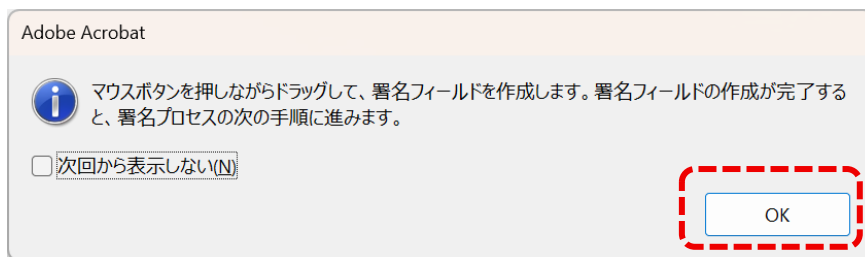
② 「証明書を使用」を選択します。



③ 「デジタル署名」を選択します。



④ 以下のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押下します。



⑤ 電子署名を追加する場所を選択後に、以下のダイアログが表示されます。

このダイアログに、“2.3.1 管理ツール上で電子署名に利用する商業登記電子証明書の指定”で指定した商業登記電子証明書が表示されますので、その証明書のラジオボタンを選択し、「続行」ボタンを押下します。以下のダイアログには、Windows の OS に登録されている他の電子証明書（ファイル形式で保存している商業登記電子証明書等）も表示されますので、「詳細を表示」リンクをクリックし、電子署名に利用する証明書のシリアル番号や有効期限などを確認してください。



⑥ 以下のダイアログが表示されるので「署名」ボタンを押下します。

次の名前で署名: " [REDACTED] "

表示方法 標準テキスト

作成

[REDACTED]

デジタル署名者 [REDACTED]
日付: 2025.12.05 19:11:51 +09'00'

☐ 署名後に文書をロックする

証明書の詳細を表示

この文書には、表示に影響する可能性のある要素が含まれています。
続行する前にレビューしてください。

レビュー

戻る

署名

- ⑦ 以下のダイアログが表示されますので、商業登記電子証明書を商業登記リモート署名システムに取得した際に登録した鍵のパスワードを入力して、「決定」ボタンを押下します。一定期間操作していなかった場合には、以下のダイアログが表示される前に G ビズ ID のログイン画面が表示されますので、再度ログインを行う必要があります。

商業登記電子証明書 リモート署名ドライバソフト Ver1.00

鍵パスワードを入力してください。

☐ 鍵パスワードを表示する(D)

決定

キャンセル

⑧ 以下のダイアログが表示されます。

本ダイアログは、認可端末（スマートフォン）の G ビズ ID アプリで認可コードの入力が完了するまで表示されます。認可コードの入力が完了すると自動で次の操作に遷移します。



<<認可端末（スマートフォン）での操作>>

G ビズ ID アプリがインストールされ認可端末（スマートフォン）の G ビズ ID アプリにて、パソコン（Windows）の画面のダイアログに表示されている認可コードを入力します。

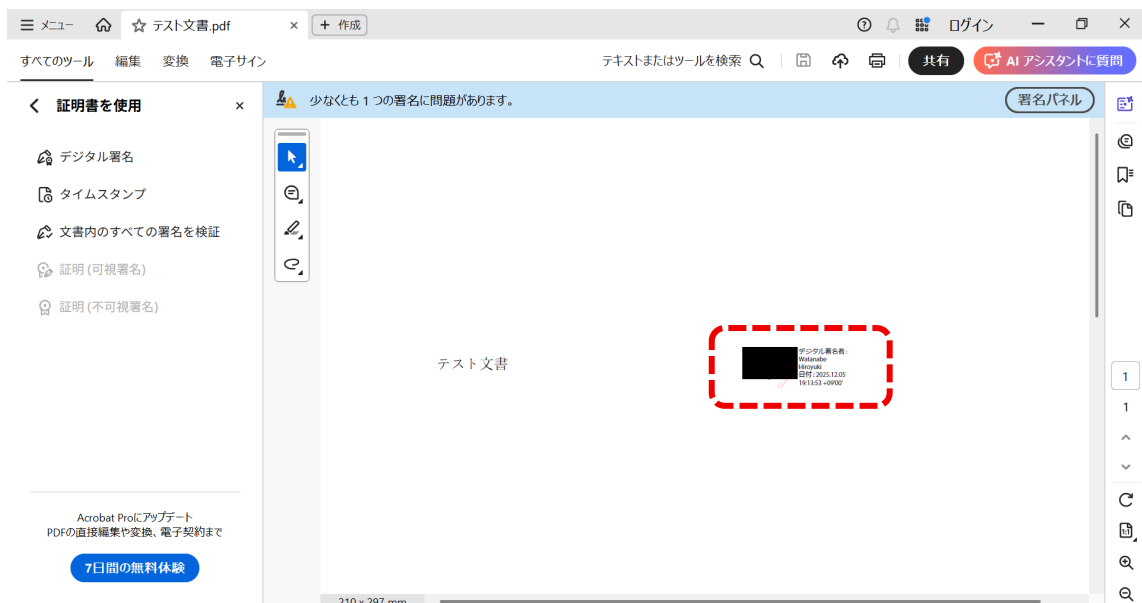


パソコン（Windows）の画面に表示されている認可コード“1234”を以下の G ビズ ID アプリにて入力します。



- ⑨ G ビズ ID アプリで認可が許可されると Adobe Acrobat Reader の処理が進み、PDF に対して、商業登記電子証明書の電子署名が付与されます。また、電子署名後に、「少なくとも 1 つの署名に問題があります」と表示された場合には、Adobe Acrobat Reader の「署名検証の環境設定」にて、パソコン（Windows）の「信頼されたルート証明書機関」の証明書を信頼する設定に変更してください。

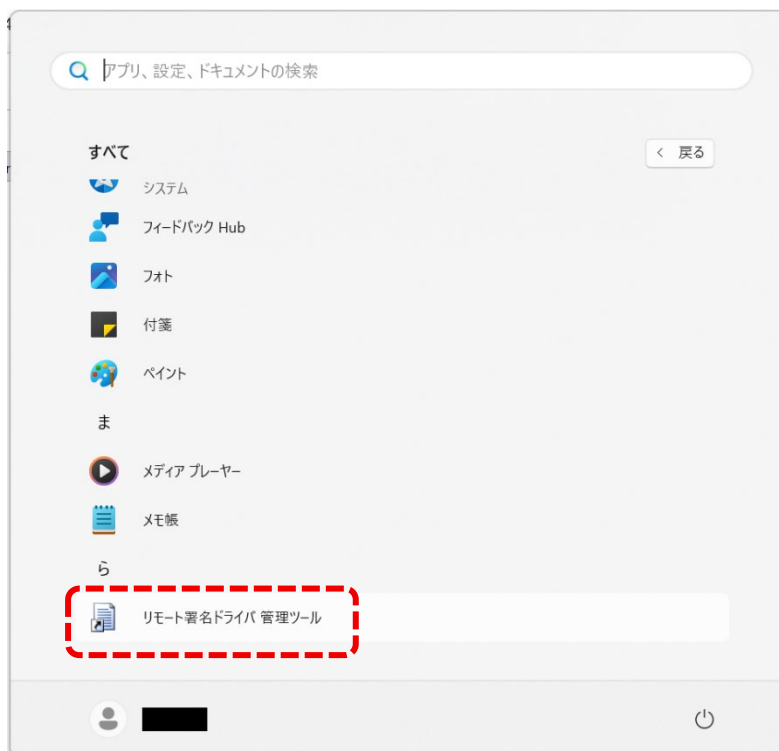
⑩



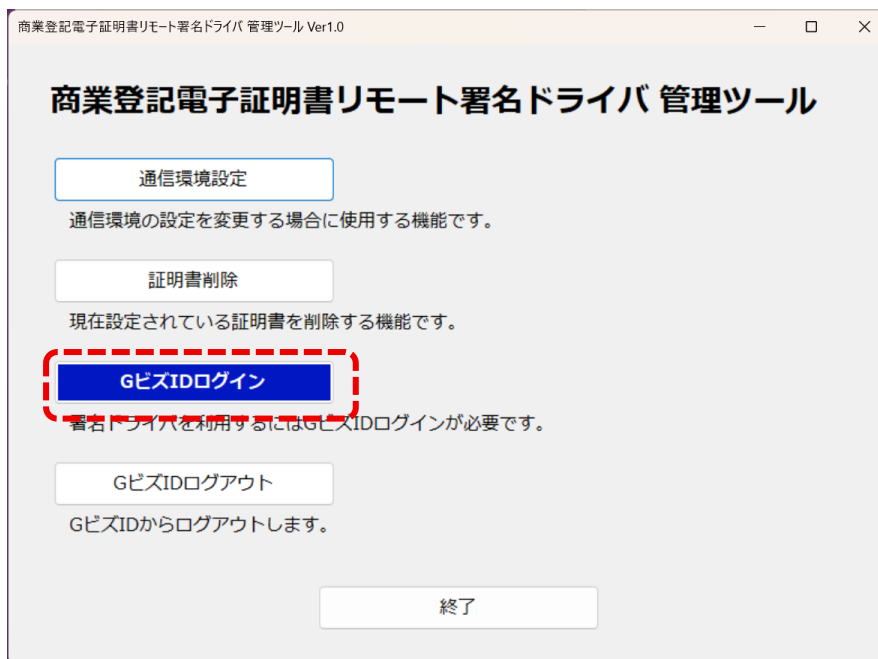
4 その他機能の操作

4.1 電子署名に利用する商業登記電子証明書の中身を確認するには...

- ② Windows のメニューから「リモート署名ドライバ 管理ツール」を起動します。

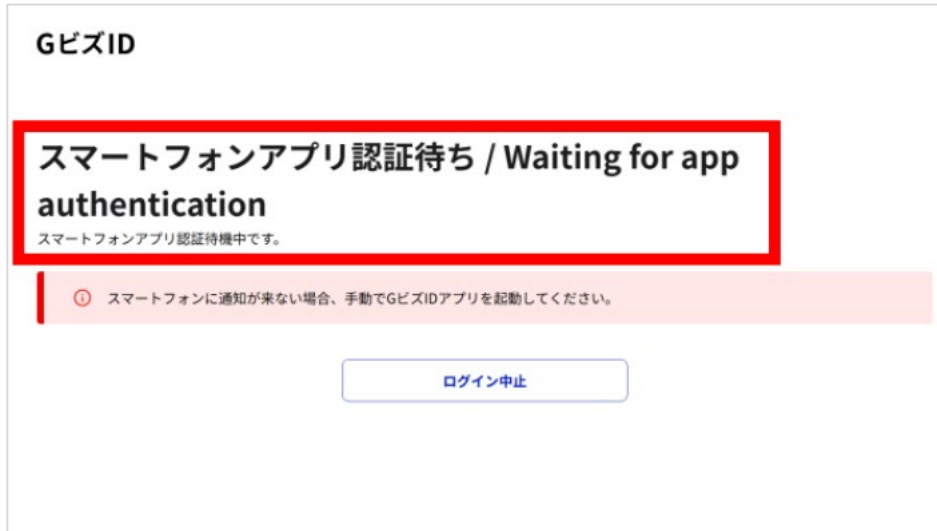


- ③ 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「G ビズ ID ログイン」を押下します。



- ④ ブラウザが起動され G ビズ ID のログイン画面が表示されます。G ビズ ID に登録済の Email、パスワードを入力し、「ログイン/Login」 ボタンを押下します。

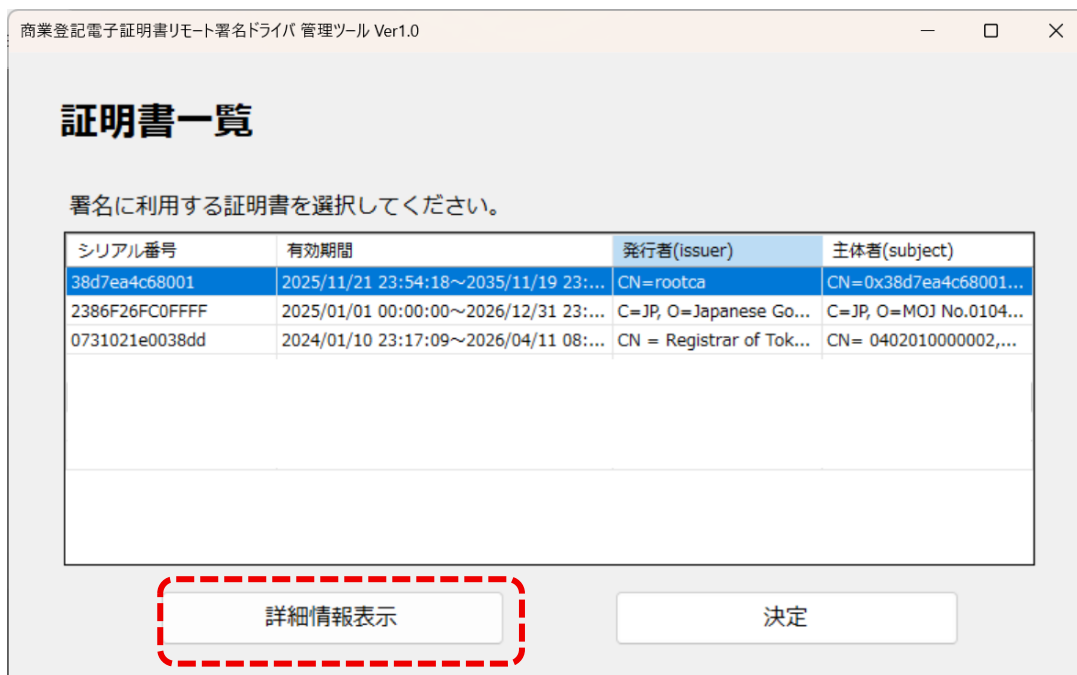
- ⑤ 以下の認証画面が表示された場合はその指示に従って、G ビズ ID に設定済の認証をおこなってください。



- ⑥ 認証が正常に完了すると、以下のダイアログが表示されますので、「CrpkiManagementTool を開く」ボタンを押下します。



- ⑦ 以下のダイアログが表示され、商業登記リモート署名システムに登録済の利用可能な証明書一覧がリスト表示されます。電子署名に利用する証明書は選択状態となります。内容を確認したい証明書をリストから選択後に、「詳細情報表示」ボタンを押下します。



- ⑧ 以下のダイアログが表示され、商業登記電子証明書の内容がダイアログ内に表示されます。内容を確認後に「閉じる」ボタンを押下します。

商業登記電子証明書リモート署名ドライバ 管理ツール

証明書詳細情報

シリアル番号
2386F26FC0FFFF

有効期間
2026/01/01 00:00:00~2026/12/31 23:59:59

発行者(issuer)
C=JP, O=Japanese Government, OU=Ministry of

主体者(subject)
C=JP, O=MOJ No.010401064771-Cybertrust, CI

商号又は名称 (表音情報含む)
サイバートラスト株式会社

会社法人等番号
010401064771

本店又は主たる事務所
東京都港区赤坂一丁目12番32号

被証明者の氏名 (表音情報含む)
北村裕司

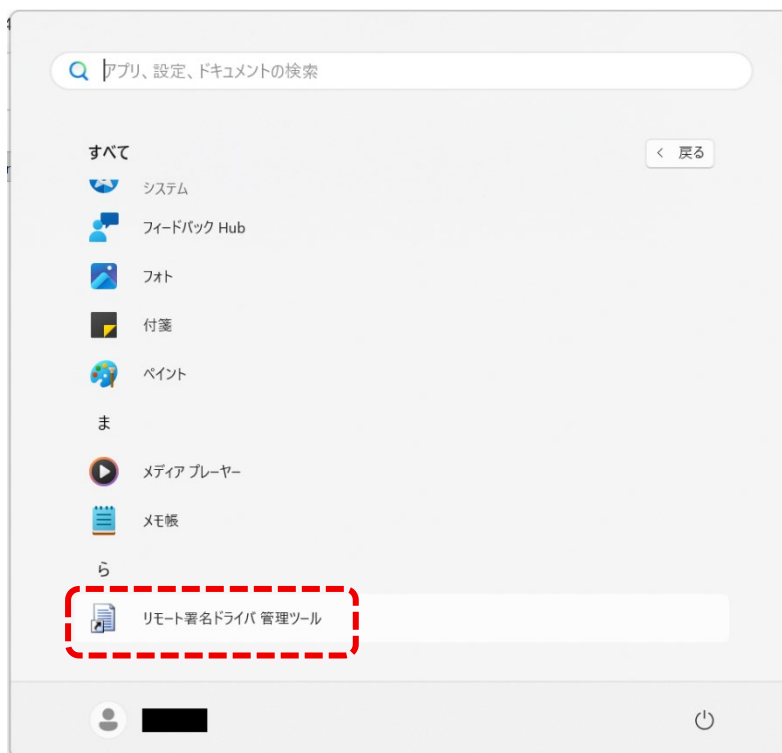
被証明者の資格
代表取締役

管轄登記所名
東京法務局港出張所

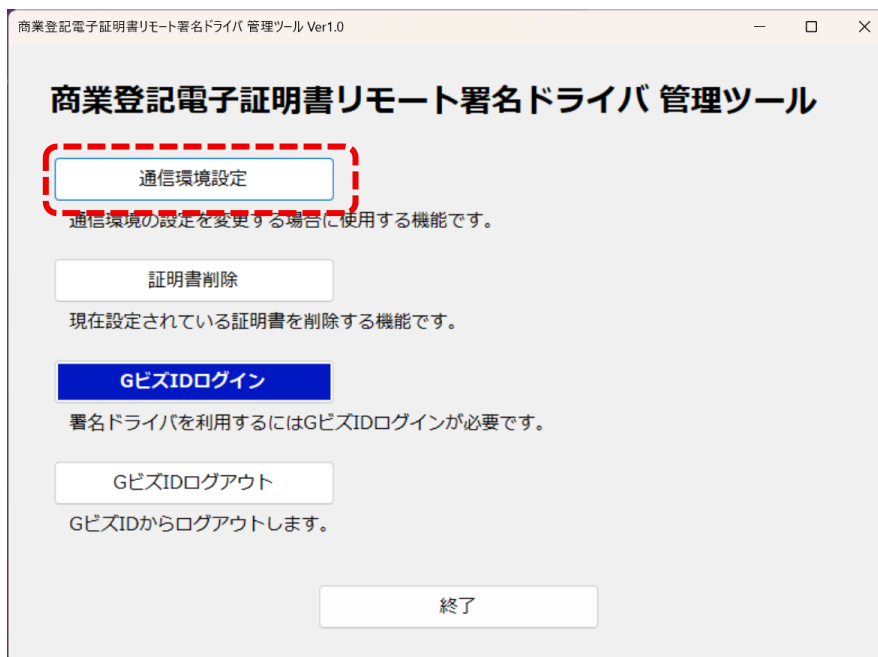
閉じる

4.2 通信環境の設定を行うには...

- ① Windows のメニューから「リモート署名ドライバ 管理ツール」を起動します。



- ② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「通信環境設定」ボタンを押下します。



- ③ 以下の通信環境設定ダイアログが表示されます。

商業登記電子証明書リモート署名ドライバ 管理ツール Ver1.0

通信環境設定

プロキシサーバ: Microsoft Edge等の設定に従う

アドレス: ポート:

初期設定は、「Microsoft Edge等の設定に従う」です。Microsoft Edge又はGoogle Chromeの設定に従わない場合は、「プロキシサーバを使用しない」又は「プロキシサーバを使用する」のどちらかを選択してください。

通信環境を変更する場合には、各項目を選択・入力の上、設定ボタンをクリックしてください。

設定 戻る

- ④ 初期設定は、「Microsoft Edge 等の設定に従う」が選択されております。プロキシサーバを個別に指定する場合には、「プロキシサーバを使用する」をリストから選択後に、「アドレス:」および「ポート:」にプロキシサーバの IP アドレスとポート番号を入力してください。プロキシサーバを使用しない場合には、「プロキシサーバを使用しない」をリストから選択してください。設定変更後、「設定」ボタンを押下します。

商業登記電子証明書リモート署名ドライバ 管理ツール Ver1.0

通信環境設定

プロキシサーバ: Microsoft Edge等の設定に従う

アドレス:

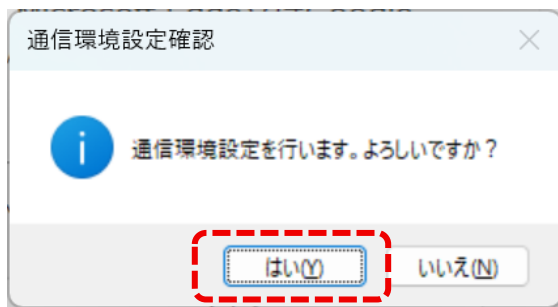
Microsoft Edge等の設定に従う
プロキシサーバを使用しない
プロキシサーバを使用する

初期設定は、「Microsoft Edge等の設定に従う」です。Microsoft Edge又はGoogle Chromeの設定に従わない場合は、「プロキシサーバを使用しない」又は「プロキシサーバを使用する」のどちらかを選択してください。

通信環境を変更する場合には、各項目を選択・入力の上、設定ボタンをクリックしてください。

設定 戻る

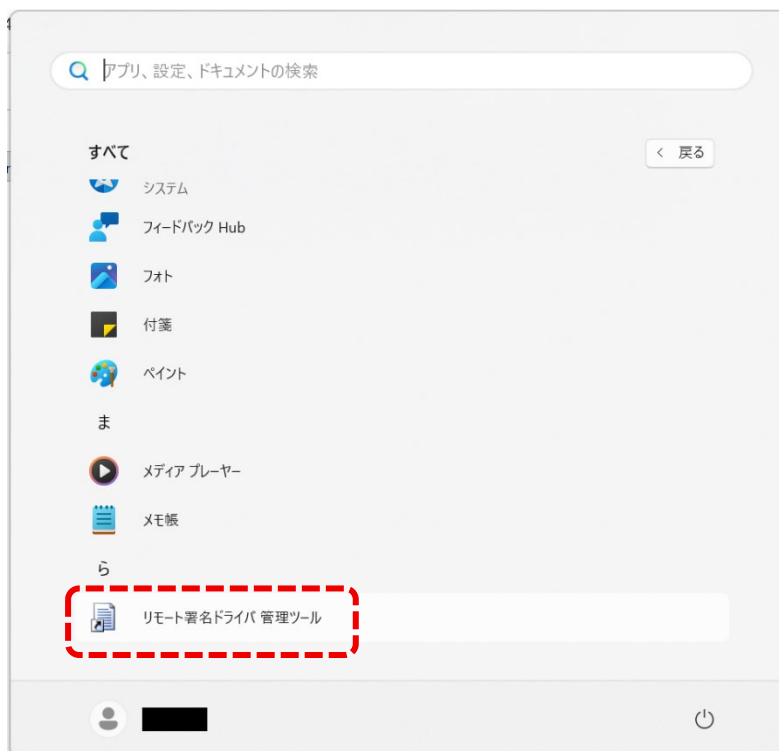
- ⑤ 以下のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」ボタンを押下します。



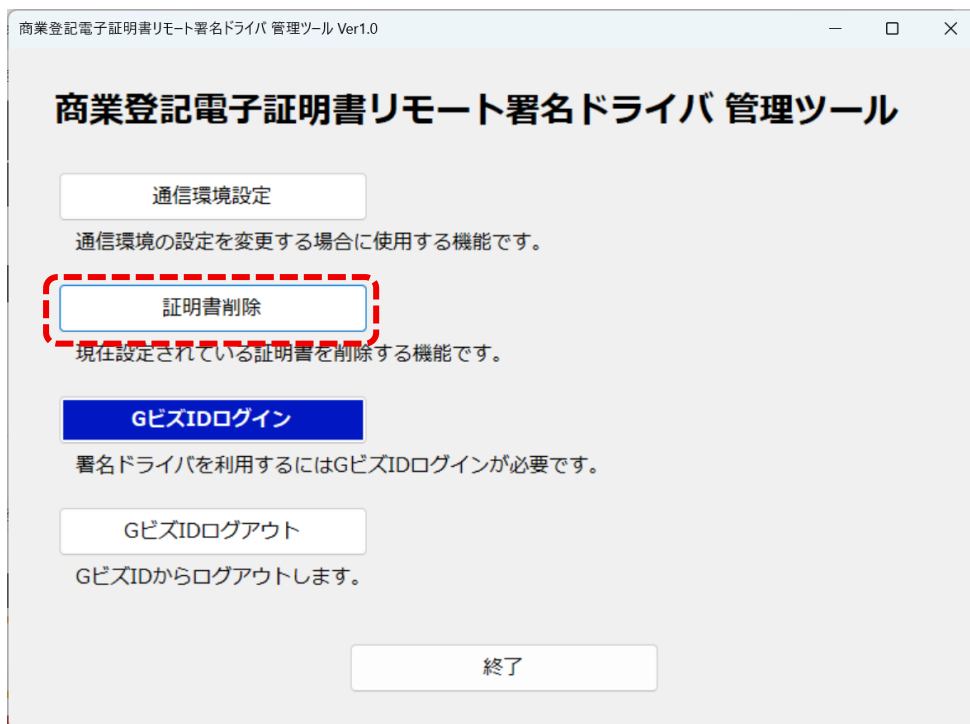
4.3 電子署名に指定した商業登記電子証明書をクリアするには...

「2 事前準備」で指定した電子署名に利用する商業登記電子証明書とは別の商業登記電子証明書を指定したい際には、本章に記載のクリア方法を実施してください。

- ① Windows のメニューから「リモート署名ドライバ 管理ツール」を起動します。



- ② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「証明書削除」ボタンを押下します。



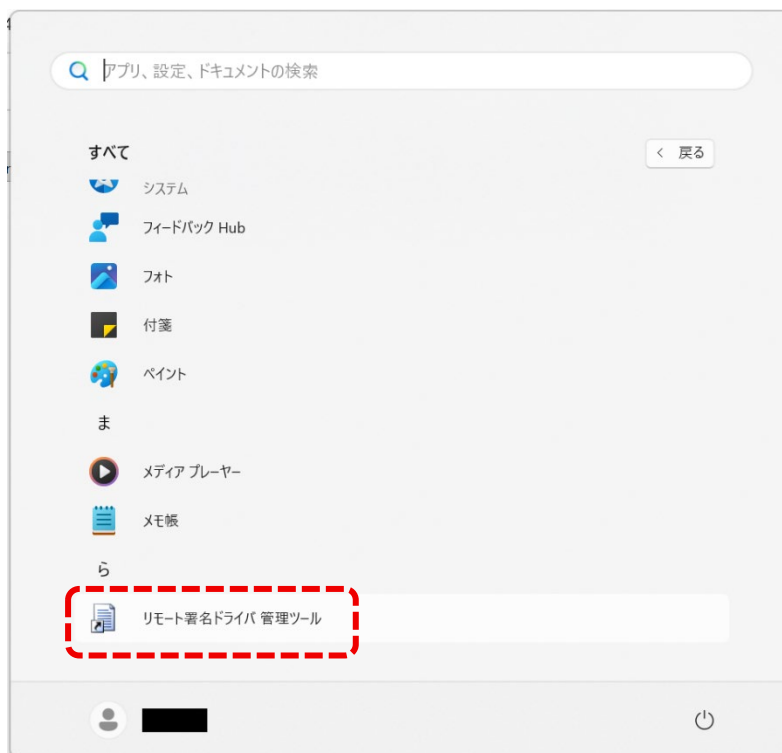
- ③ 以下のダイアログが表示されますので、「はい(Y)」ボタンを押下します。



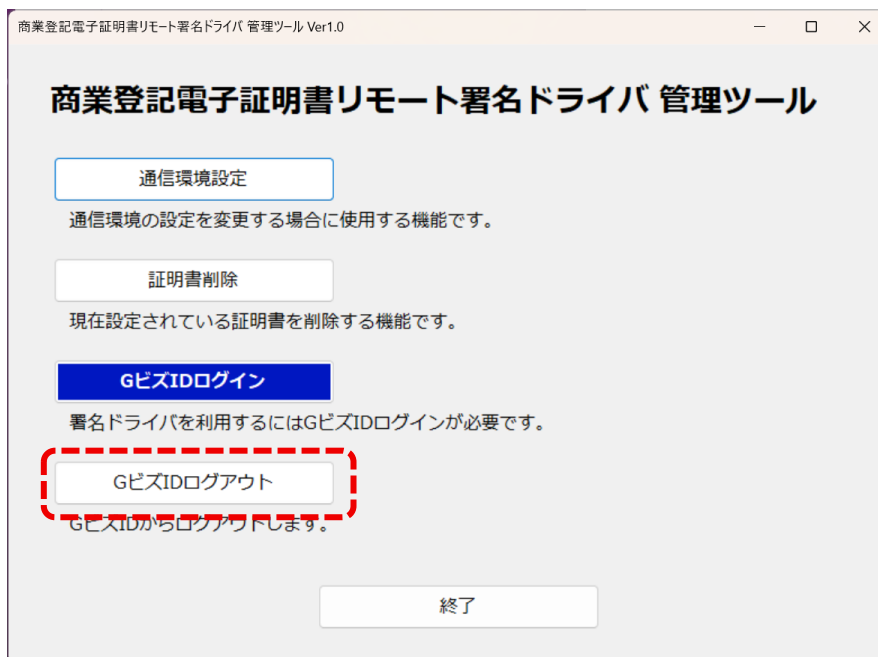
4.4 G Biz ID の認証情報をクリアするには...

本ソフトウェアでは、G Biz ID への認証情報を一定期間内部に保持します。この認証情報を明示的にクリアしたい場合は、以下の操作を行ってください。

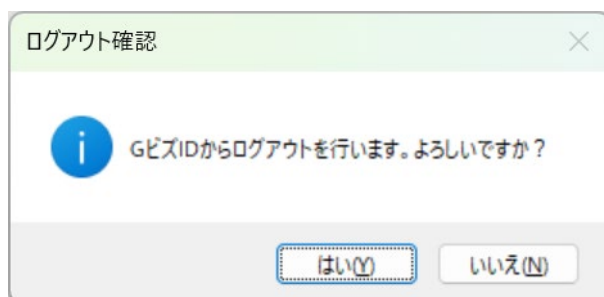
- ① Windows のメニューから「リモート署名ドライバ 管理ツール」を起動します。



- ② 管理ツールが起動され、以下のダイアログが表示されますので、「GビズIDログアウト」ボタンを押下します。

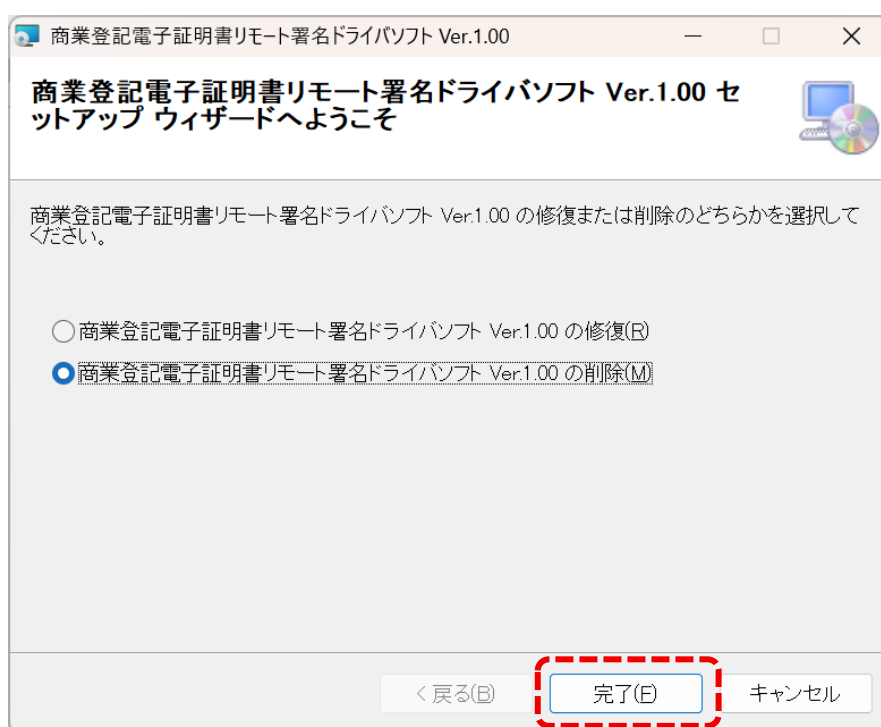


- ③ 以下の確認ダイアログが表示されますので、「はい(Y)」ボタンを押下します。

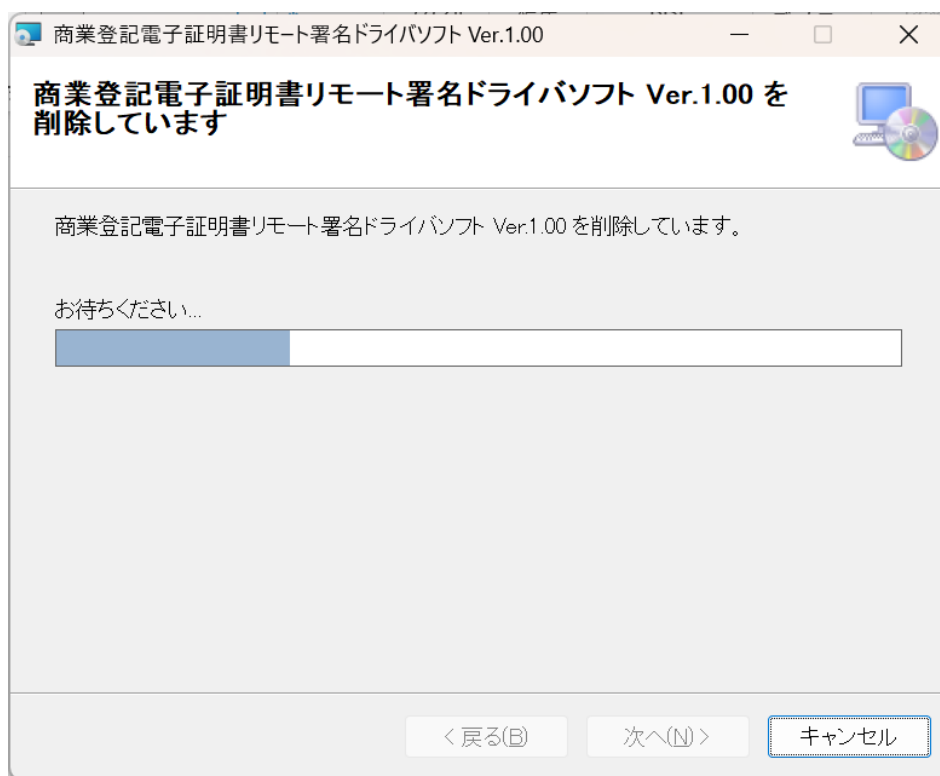


4.5 商業登記リモート署名ドライバソフトをアンインストールするに は...

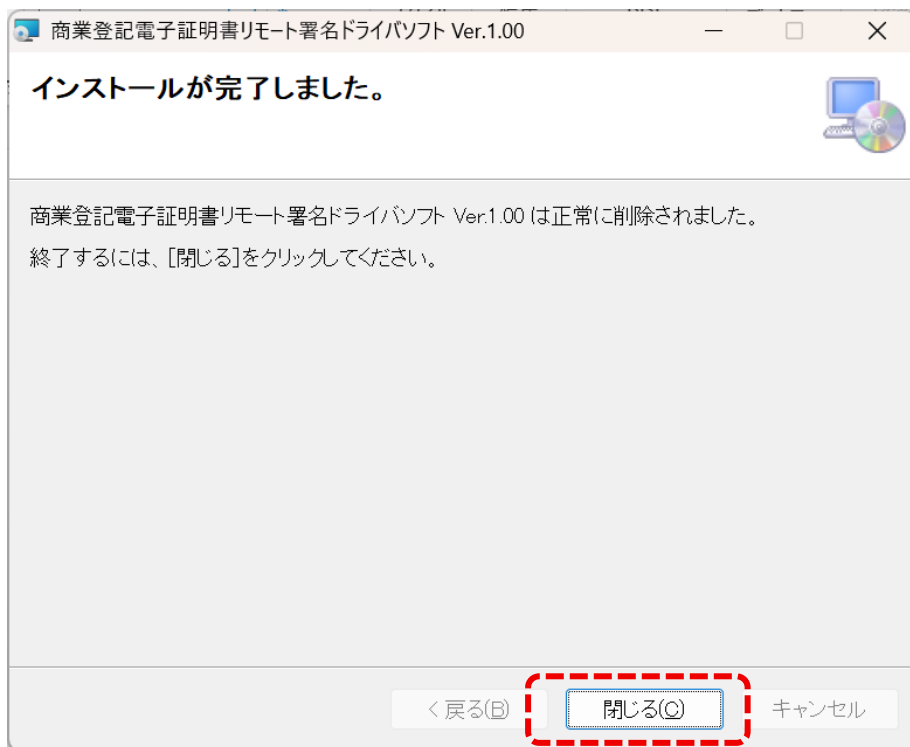
- ① ダウンロードしたインストーラのファイル（setup.exe）をマウスのダブルクリックにて実行します。以下のダイアログが表示されますので、「商業登記リモート署名ドライバソフト Ver1.00 の削除(M)」のラジオボタンを選択し、「完了(E)」ボタンを押下します。



- ② アンインストールが開始されると、以下のアンインストール状況の表示ダイアログが表示され、アンインストールの状況が表示されます。



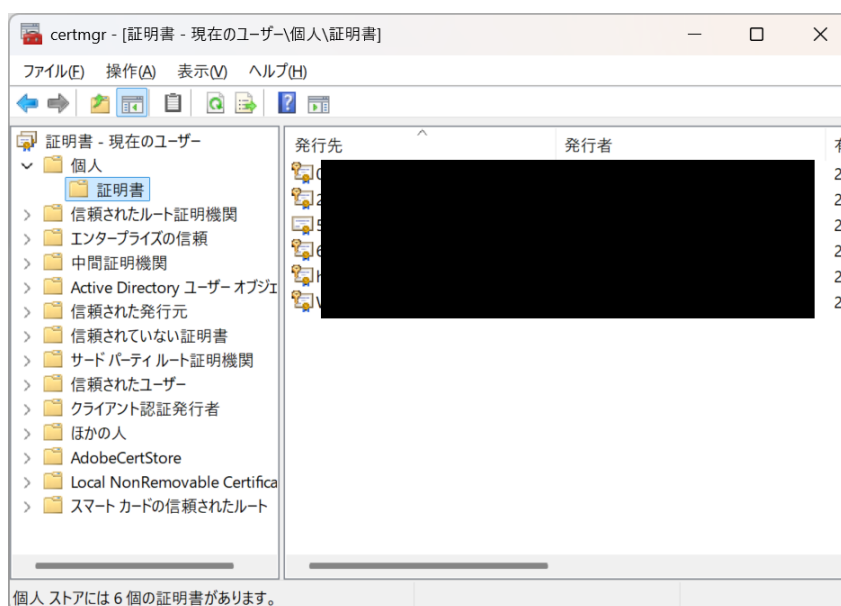
- ③ 以下のアンインストール完了のダイアログが表示されましたら、アンインストールは完了となります。「閉じる(C)」ボタンを押下します。



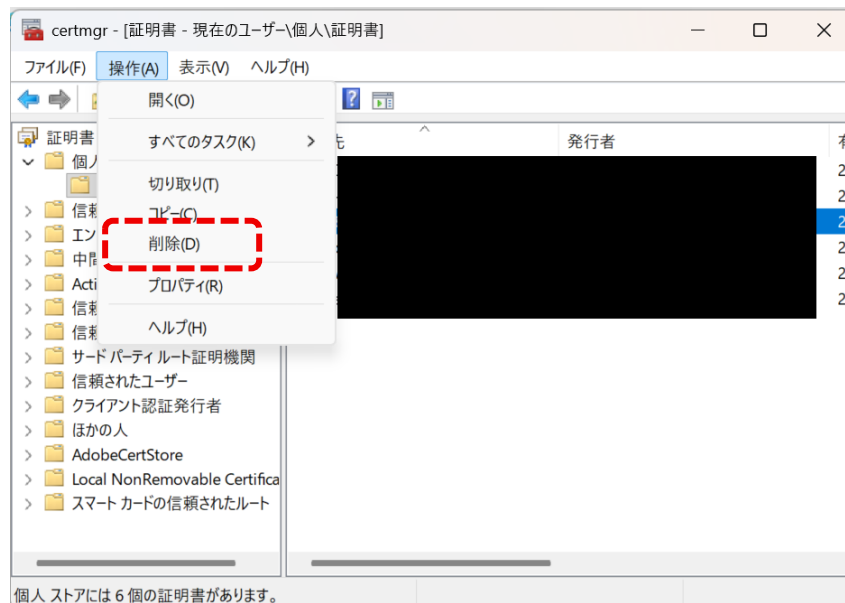
- ④ 本ソフトウェアのアンインストールは完了となりますが、Windows の証明書ストアに登録された証明書は、以下の手順で削除する必要があります。

(ア) Windows キー + R を押し、「certmgr.msc」と入力して Enter を押してください。

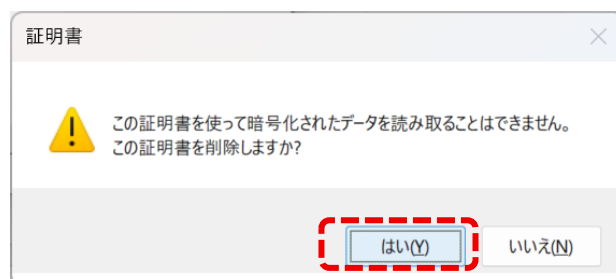
(イ) 以下のダイアログが表示されますので、削除する商業登記電子証明書を選択します。シリアル番号や有効期間等で削除対象の証明書を正しく選択してください。



(ウ)「操作(A)」から「削除(D)」を選択し、削除を実行します。



(エ)以下のダイアログが表示されますので「はい(Y)」を押下すると削除が完了します。



5 トラブルシューティング

6 G ビズ ID との連携

G ビズ ID の操作の詳細につきましては、G ビズ ID の利用者マニュアルを参照してください。

7 用語の定義

表 2. 用語の定義

	用語・略号	説明
1	商業登記電子証明書	法務省が商業登記に基づき発行する X.509 形式の電子証明書。法人（会社等）の代表者に対して発行され、行政サービスのオンライン申請や、民間企業間での電子契約等に利用される。
2	登記・供託オンライン申請システム	登記・供託オンライン申請システムは、申請・請求をインターネット等により行うシステムである。登記・供託オンライン申請システムを利用することにより、登記所等の窓口に出向くことなく、自宅やオフィスなどからインターネット等による申請・請求が可能となる。申請用総合ソフトにより商業登記電子証明書の申請も行える。
3	商業登記リモート署名	G ビズ ID や商業登記認証ポータルと商業登記リモート署名システムや商業登記リモート署名ドライバを利用して、商業登記電子証明書のリモート署名機能を提供する仕組み全体を指す。
4	G ビズ ID	デジタル庁が運用する電子的な行政手続きの対象者を一元的に認証する法人共通認証基盤である。法人（会社等）の代表者や個人事業主等が、行政サービスを利用する際の認証に使われ、商業登記

		リモート署名の利用も G ビズ ID の利用を前提としている。OP と略す場合がある。※OP: OpenID Provider
5	リライティングパーティー (G ビズ ID)	本ガイドラインでは、認証基盤として G ビズ ID を利用するサービス。具体的には行政の電子申請システム等のこと。G ビズ ID への登録が必要。RP と略す場合がある。
6	商業登記電子認証ポータル	商業登記電子証明書の発行準備や取得に加えて管理機能も備える商業登記リモート署名の一部として提供されるウェブサービス。G ビズ ID によりログインして利用する。商業登記電子証明書で従来提供されていた商業登記電子認証ソフトに代わって利用される。
7	署名生成アプリケーション	商業登記リモート署名を利用して、電子署名の生成を行う行政サービス等のウェブサービスや電子署名アプリ。主にウェブサービスの場合には商業登記リモート署名システムが提供する API を利用し、Windows 上の電子署名アプリの場合には商業登記リモート署名ドライバソフトが提供する API を利用する。利用には G ビズ ID と商業登記電子証明書の取得が必要となる。SCA と略す場合がある。※SCA: Signature Creation Application
8	商業登記リモート署名システム	主に行政サービス等のウェブサービスへ商業登記リモート署名の機能を提供するシステム。電子署名を直接利用するための API (外部のプログラムから呼び出す仕組み) を提供する。署名生成アプリケーションから利用する。署名生成アプリケーション提供者は、利用する行政サービス等の G ビズ ID への RP 登録と商業登記リモート署名窓口への SCA 登録が必要。RSSP と略す場合がある。

		※RSSP: Remote Signature Service Provider
9	商業登記リモート署名ドライバソフト	Windows 上で動作する電子署名アプリから商業登記リモート署名を利用するために、Windows にインストールするドライバソフトウェア。利用するためには Windows の CNG/CAPI の暗号 API を呼び出す必要がある。API を利用するだけであれば G ビズ ID への RP 登録は不要であり、民間での利用も可能。
10	署名鍵	商業登記電子証明書に記載されている公開鍵と紐付いた秘密鍵（暗号鍵）。利用者（所有者）自身で管理され、電子署名を付与するために利用される。
11	リモート署名	署名鍵をクラウド（リモート）上の安全なハード上に保管して当人認証により署名者を識別して電子署名を付与する署名方式の一種。署名鍵を自身の PC にファイル保管して利用するローカル署名方式に比較して署名鍵の安全性が高い。
12	利用者	商業登記電子証明書を電子署名に利用する者。
13	署名生成アプリケーション提供者	商業登記リモート署名を使い、電子署名の生成を行うウェブサービスや電子署名アプリの提供者（行政機関や民間サービス）。
14	署名生成アプリケーション開発者	商業登記リモート署名を使うウェブサービスや電子署名アプリを実際に開発する者（開発会社）。
15	行政サービス	国や地方自治体などの行政機関が提供しているシステムやサービス。商業登記リモート署名システムと連携し利用者の指示に基づき署名処理を実行する。
16	登記システム・窓口	商業登記証明書の発行審査を行う窓口。
17	電子認証登記所	商業登記に基づく電子認証制度により発行される電子証明書の発行業務を行う電子認証局。
18	PKCS#12 ファイル	秘密鍵と証明書を 1 つのファイルにまとめた、パ

		スワードで保護されたファイル形式。
19	CSC	Cloud Signature Consortium の略。クラウドにおける安全性が高く準拠したデジタル署名の標準化を推進する ことに取り組んでいる業界、政府、学術機関のグローバル団体。
20	CAPI	Microsoft Cryptographic API の略。Windows で暗号化、復号、署名、検証などの機能を提供する API。
21	CNG	Cryptography API: Next Generation の略。CAPI の後継として Windows Vista 以降に導入された新しい暗号 API。
22	2 要素認証	利用者がシステム等にログインする際に、2 つの異なる認証要素を使って本人確認を行う仕組みのこと。
23	鍵ペア生成	公開鍵暗号方式において使用される「公開鍵」と「秘密鍵」のセット（ペア）を作成するプロセスのこと。公開鍵は、誰でも知ることができる鍵で、暗号化や署名の検証に使われる。秘密鍵は、所有者だけが保持する鍵で、復号や署名の生成に使われる。
24	G ビズ ID アプリ	G ビズ ID のログイン時の二要素認証に利用されるスマートフォン用アプリケーション。商業登記リモート署名では、署名認可操作においても利用する。認可端末とも呼ぶ場合がある。
25	支配人	会社法および商業登記法において、会社に代わってその営業に関する一切の裁判上または裁判外の行為をする権限を有する使用人で、法人（会社等）の代表者ではないが、商業登記電子証明書を申請・取得することができる。
26	商業登記リモート署名窓口	行政サービスが提供する商業登記リモート署名システムと連携する署名生成アプリケーションを登

		録する（SCA 登録）窓口。
--	--	----------------

8 参考情報

本ソフトウェアの利用に関する参考情報を以下に示します。

- 商業登記電子証明書
(<https://www.moj.go.jp/ONLINE/CERTIFICATION/>)
- G ビズ ID ホームページ
(<https://gbiz-id.go.jp/top/>)
- G ビズ ID ご利用ガイド
(<https://gbiz-id.go.jp/top/manual/manual.html>)
- G ビズ ID アプリ
(<https://gbiz-id.go.jp/top/app/app.html>)
- 商業登記電子認証ポータル
(URL は確定次第反映)
- 商業登記電子認証ポータル 操作マニュアル
(URL は確定次第反映)

商標については次の通りです。

- Microsoft Windows 及び Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe PDF ロゴは、米国および/またはその他の国における Adobe の登録商標または商標です。
- Mac および macOS は、米国およびその他の国と地域で登録された Apple Inc.の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

9 問い合わせ

問い合わせ先を以下に示す。

- 商業登記リモート署名窓口
(未確定)